



第 **7** 期 中間決算のご報告
BUSINESS REPORT
平成19年4月1日～平成19年9月30日

MOTHER FOOD
SHIDAX 

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成19年4月1日から平成19年9月30日に至る当社グループの第7期中間決算をご報告するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループは、マザーフードの概念をベースに健康で快適な生活を願う人々の声、豊かさの価値を求める社会のニーズに対し、食を通じ高い品質のサービスを提供し、「健康を創る」を経営理念としております。その理念の下、安心・安全を第一に、品質の高い食材を一括仕入れすることによるクオリティー管理をしております。また、給食事業及びレストランカラオケ事業のリーディングカンパニーとして、それぞれのお客様のニーズにお応えするための専門性を常に追求しております。

また、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けており、競争力及び企業体質の強化を図るための内部留保に努めるとともに、収益の状況に対応した配当を行うことを基本方針としております。

今後は、新たに当社グループに加わった大新東株式会社とのシナジーにより、食の領域を大きく超えて、幅広い分野にわたるサービスを総合的に提供できる体制となったことで、「食」以外のサービスも拡充し「総合フードサービス企業」から「総合サービス企業グループ」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

代表取締役社長

志太 勤一



連結決算のポイント

決算概況

当中間連結会計期間においては、当社グループの事業優位である水平・垂直統合型グループ構造のもと「食」を中心としたサービスに加え、大新東株式会社を中心とした車両運行管理や社会サービス業務などの総合サービスの提供拡大に努めてきました。また、当社グループの食材購買事業において、標準メニューの作成システムとメニューに連動する統一食材の調達の仕組みが計画通り進捗したことで、コントラクトフードサービス事業、メディカルフードサービス事業、レストランカラオケ事業への食材提供が一層推進され、オペレーションの効率化と食材購買による収益構造が一段と強化されました。

また、前中間期と比較すると売上高構成比も大幅に変化しました。これまではレストランカラオケ事業が連結売上高の36.6%を占めておりましたが、スペシャリティーレストラン事業とトータルアウトソーシング事業が新たに加わったことで同比率が27.4%となり、コントラクトフードサービス事業が17.9%、メディカルフードサービス事業で18.1%、スペシャリ

ティーレストラン事業が11.0%、トータルアウトソーシング事業が16.0%と売上構成比が分散されました。売上高は、新たに加わったトータルアウトソーシング事業と、海外売上高が増加したスペシャリティーレストラン事業により大幅な増収となりました。

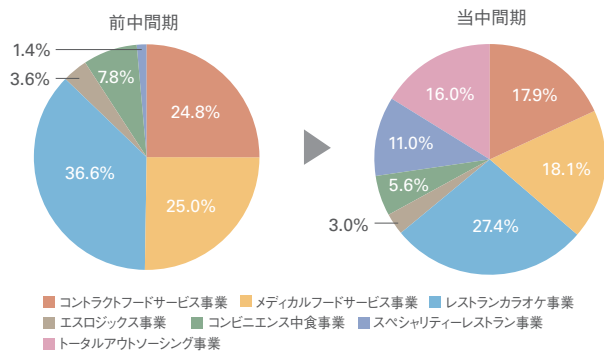
さらに利益面では、トータルアウトソーシング事業が加わったことと、各事業がエスロジックス事業との連携を強化することで安心・安全な食材を低コストで仕入れ、食材の一元管理とオペレーション効率を高め、調理現場の省力化を図りました。これにより営業利益も前年同期と比較し38.3%増加し増益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は112,041百万円（前年同期比39.6%増）、経常利益は4,256百万円（前年同期比31.7%増）、中間純利益は832百万円（前年同期比281.1%増）となりました。

財政面に関して

財務内容の安定と有利子負債の圧縮を目的として、公募による普通株式40,000株および第三者割当による普通株式4,617株の新株発行増資を行い合計3,702百万円の資金を調達しました。この増資による調達資金は、事業拡大の為のM&Aにともない増加した借入金の返済に全額充当しました。これにより有利子負債が前連結会計年度末の59,496百万円から6,846百万円減少し52,650百万円となり、財務内容の安定と金利リスク縮小を図ることができました。今後も有利子負債の圧縮を進め、財務体質の強化に努めていきます。

売上高構成の変化





部門別の報告



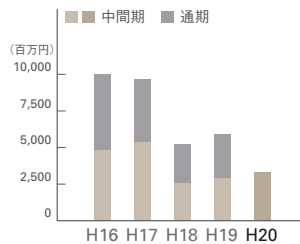
エスロジックス事業

売上高構成比 **3.0%**



大量仕入れによるスケールメリットを生かし、安全性・信頼性の高い食材の一括発注・配送を展開しています。

売上高推移



売上高 3,327百万円 (前中間期比 13.6%増)
営業利益 2,245百万円 (前中間期比 24.8%増)



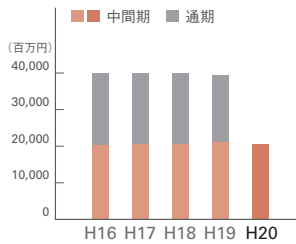
コントラクトフードサービス事業

売上高構成比 **17.9%**



オフィスや学校、官庁などの食堂を中心に、高品質な給食サービスを提供しています。

売上高推移



売上高 20,026百万円 (前中間期比 0.7%増)
営業利益 1,116百万円 (前中間期比 22.0%増)



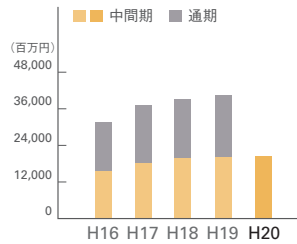
メディカルフードサービス事業

売上高構成比 **18.1%**



病院や老人福祉施設などの方々に栄養バランスと、おいさを兼ね備えた食事サービスを提供しています。

売上高推移



売上高 20,223百万円 (前中間期比 0.9%増)
営業損失 56百万円 (前中間期比355百万円の損失)



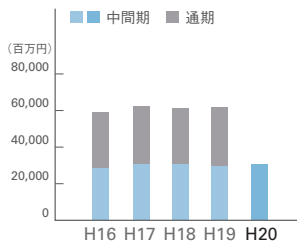
レストランカラオケ事業

売上高構成比 **27.4%**



楽しいカラオケと美味しい食事を融合させた、「レストランカラオケ」を展開しています。

売上高推移



売上高 30,648百万円 (前中間期比 4.4%増)
営業利益 2,680百万円 (前中間期比 19.1%減)



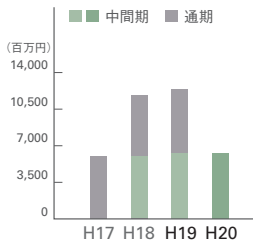
コンビニエンス中食事業

売上高構成比 **5.6%**



病院やオフィスビル等で、食料品や日用品を販売する売店の受託運営をしています。

売上高推移



売上高 6,278百万円 (前中間期比 0.5%増)
営業損失 37百万円 (前中間期比66百万円の損失)



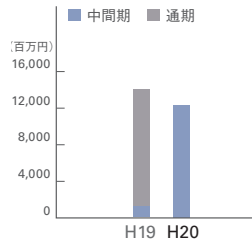
スペシャリティーレストラン事業

売上高構成比 **11.0%**



主に米国の主要都市で、上質な食事を提供するレストランを展開しています。

売上高推移



売上高 12,314百万円 (前中間期比959.4%増)
営業損失 282百万円 (前中間期比85百万円の損失)



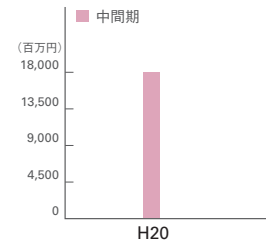
トータルアウトソーシング事業

売上高構成比 **16.0%**



自動車管理や自治体の業務等を、一括受託する事業を展開しています。

売上高推移



売上高 17,898百万円
営業利益 1,364百万円



夏バテ対応メニュー・レシピの提供を実施

平成19年8月に開催された IAAF世界陸上2007大阪大会のナショナルパートナーであるシダックスグループでは、開催を記念し「マザーフード」の理念に沿った企画として全国約1,500の店舗・施設において 暑い夏にアスリートも負けない！夏バテ対応料理の提供をいたしました。

現代社会における「夏バテ」は、夏特有の高温多湿による慢性的な疲労や、冷房などによる室内外の温度差に体が順応できないことが原因と言われています。「食」を中心とした事業を展開しているシダックスグループでは、夏バテで悩んでいる方に元気良く過ごしていただくため、その症状を5種類に分類し、それぞれの症状に効果のある食材を使用した約130種類の夏バテ対応料理の提供を実施しました。

全国302箇所のレストランカラオケ店舗では、食欲を増進させる「ほうれん草のポパイサラダPizza」など3種類のメニューを用意しました。また、約1,200箇所の給食受託店舗・施設では、消化吸収を補助する「タラの梅バター焼き」など約120種類のメニューを提供しました。

また、料理の提供だけでなく、夏バテ対策のリーフレットの配布や、症状ごとに有効な食材とその効果をまとめた店内ポスターを作成し、お客様へご案内しました。



豚ばら肉と香味野菜の冷しゃぶサラダ



蕎麦とひじきのヘルシーサラダ



チャブエ



タラの梅バター焼き



細切り炒めのせ豆腐ステーキ

FOOD=BODY
食べたものでしか、カラダは作れない。

シダックスは、IAAF世界陸上2007大阪の、
ナショナルパートナーです。

MOTHER FOOD SHIDAX
<http://www.shidax.co.jp>

開催期間：2007年8月25日(土)～9月2日(日)
会場：大阪市長居陸上競技場

「夏バテ」の 5つの症状と対応料理



疲労回復料理

暑いと眠れなくなる人・睡眠不足の人・不規則な生活の人



血行促進料理

冷房が効いている場所に長時間いる人



ミネラル補給料理

日中、室外で活動することが多い人（よく汗をかく人）



食欲増進料理

暑さで食欲がなくなり、あっさりしたものを好んで食べる人



消化吸収補助料理

冷たい飲み物や食べ物をたくさん食べてしまう人



水平展開による事業領域の拡大

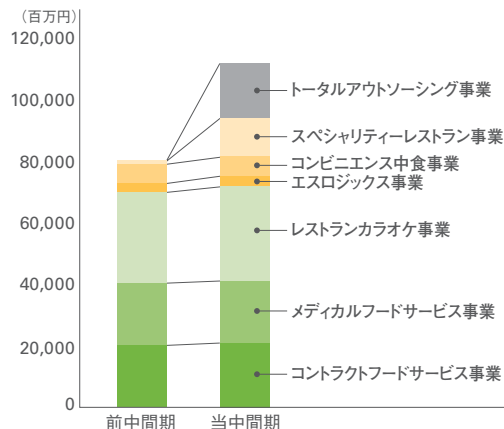
当中間期においては、外食レストランを展開するPatina Restaurant Groupと車両管理や社会サービスを展開する大新東を前期に連結子会社としたことにより、前中間期と比較してスペシャリティーレストラン事業とトータルアウトソーシング事業の売上高が増加し、連結売上高に大きく寄与しました。

その結果、売上高は前年同期と比較して39.6%増加の112,041百万円となり、大幅な増収となりました。

現在はシダックスフードサービスと大新東の営業開発連携を強化しており、民間企業や地方自治体へフードサービスと一括アウトソーシングサービスを共同提案するなど共同営業開発に注力しています。

今後も他社と差別化した「総合サービス」の営業提案を行うことで、年度末にかけての入札・業者入替え時期を狙い新規顧客の獲得に努め売上拡大を図っていきます。

売上高構成の変化



レストランカラオケ事業向け酒類の供給体制を構築

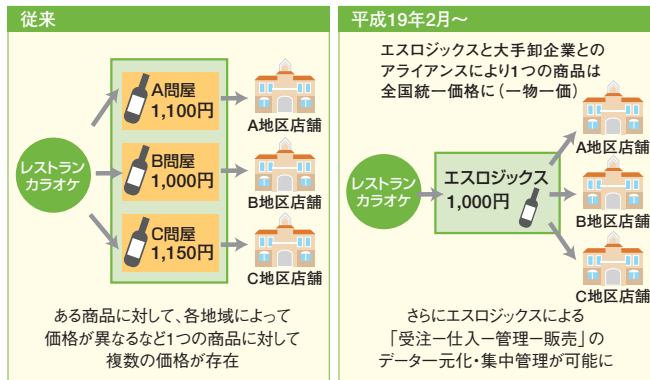
近年、原油や食材などの原料価格の高騰が続いています。水平・垂直統合型事業展開を進めている当社グループでは、エスロジック事業において、大量仕入れによるスケールメリットを生かした食材などの購入に取り組んできました。

これにより、原材料価格が上昇するなかで、食材および消耗品の仕入れコスト上昇を最小限に押さえることができました。今後も世界的な食材高騰が予測されるなか、エスロジックス事業において従来のフードサービス向け食材の調達に加え、平成19年2月にレストランカラオケ事業向けの酒類供給体制を「一元物流システム」に編入しました。

従来は店舗エリア毎に酒類の仕入先が違っていたため、同一の商品でも仕入れ価格が異なりましたが、大手卸売企業との協力で同一商品を全国一律価格で調達できる「一物一価」が可能となったことで、酒類の仕入れコスト削減効果が現われ始めています。

今後もさまざまな食材についてスケールメリットや他社とのアライアンスを最大限に活用し、収益構造の強化を図っていきます。

レストランカラオケ事業への酒類供給イメージ [リキュールの例]



エスロジックスを最大限に活用した収益構造へ

三世代ファミリーでご利用しやすい店舗づくり

レストランカラオケ事業では、上質な「食」をご提供するだけでなく、安心・安全にご利用できる施設・空間をご用意するなど、三世代ファミリーでもご利用しやすい「次世代レストランカラオケ」の開発を推進しました。

レストランカラオケとして「食」の充実に加え、ちょっと高級なセレブスタイルメニューやおこさまメニューの充実、マンゴーフェアなど季節感のある商品を安心・安全な食材を用いて提供しました。

また、施設の安心・安全に関しても積極的に取り組みました。従来よりご好評いただいているお子様と一緒に楽しめる「キッズルーム」や、シニア層も安心してご利用いただけるように、ゆったりくつろげる掘りこたつの和室や店舗のバリアフリー化などを店舗リニューアル時に拡充しました。

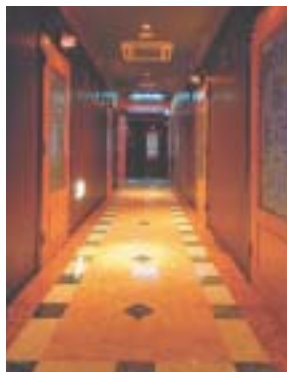
その他にもシダックスではカラオケ以外のご利用方法として、健康や教養、趣味などさまざまな講座を揃えた「カルチャークラブ」や多目的スペースとしてのご利用の促進を図り、付帯サービスの提供を充実させました。

これらの取り組みの結果、昼間時間帯の売上高が前年同期比で11.3%増加し、当事業全体の売上高も30,648百万円（前年同期比104.4%）となりました。

さらに下期には、忘・新年会パーティープランや鍋メニューを用意し季節に合ったプランを充実させお客様のご来店をお待ちしているほか、12月3日から25日までガチャピン&ムックの「ハッピークリスマス」キャンペーンを開催し、お子様も一緒に楽しめるようなイベントも用意しています。



くつろげる和室



バリアフリーの店内



セレブスタイルメニュー



おこさまメニュー



お子様も
安心

楽しく遊べるキッズ
ルームと盛沢山のフ
ードメニューでお子
様も大喜び！



秋冬
メニュー

寒い季節、体暖まる
秋冬メニューを
ご用意！

冬休みはお子様やお孫さんと一緒に
シダックスでファミリーパーティー





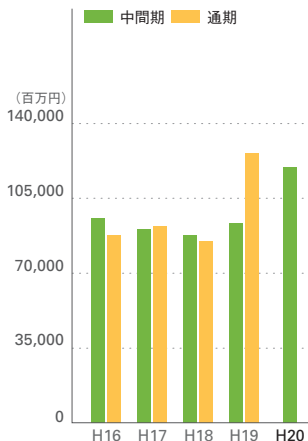
中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

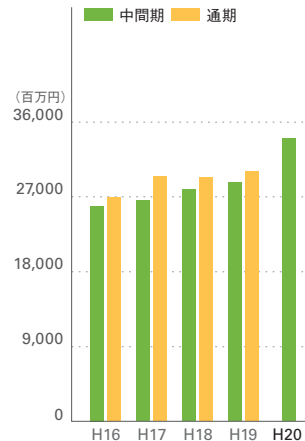
単位：百万円

	前中間期末 平成18年9月30日	当中間期末 平成19年9月30日	前期末 平成19年3月31日
(資産の部)			
流動資産	32,011	36,075	39,188
固定資産	61,466	83,697	86,832
有形固定資産	34,018	34,227	36,504
無形固定資産	5,080	21,428	21,654
投資その他の資産	22,367	28,040	28,672
資産合計	93,478	119,772	126,020
(負債の部)			
流動負債	38,133	42,326	50,835
固定負債	26,029	41,082	42,847
負債合計	64,162	83,408	93,682
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	8,930	10,781	8,930
資本剰余金	8,112	9,963	8,111
利益剰余金	12,037	13,650	13,347
自己株式	△ 348	△ 350	△ 349
株主資本合計	28,731	34,044	30,039
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	160	145	154
為替換算調整勘定	73	297	179
少数株主持分	349	1,875	1,963
純資産合計	29,316	36,363	32,337
負債純資産合計	93,478	119,772	126,020

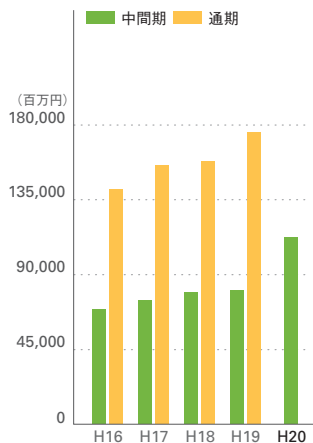
総資産



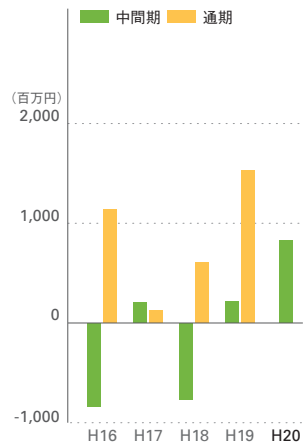
株主資本



売上高



中間(当期)純利益



中間連結損益計算書

単位：百万円

	前中間期	当中間期	前期
	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	80,286	112,041	175,150
売上原価	69,613	96,281	151,056
売上総利益	10,672	15,760	24,094
販売費及び一般管理費	7,386	11,215	16,185
営業利益	3,285	4,544	7,908
営業外収益	326	479	895
営業外費用	380	767	864
経常利益	3,232	4,256	7,939
特別利益	33	138	185
特別損失	2,310	660	3,340
税金等調整前中間(当期)純利益	955	3,734	4,783
法人税、住民税及び事業税	840	1,151	3,825
法人税等調整額	△ 79	1,265	△ 491
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 23	485	△ 77
中間(当期)純利益	218	832	1,527

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	前中間期	当中間期	前期
	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,567	1,891	11,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,600	△ 831	△ 27,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	191	△ 3,970	12,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	53	15
現金及び現金同等物の減少額	△ 3,841	△ 2,857	△ 3,153
現金及び現金同等物の期首残高	19,203	16,049	19,203
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	15,362	13,191	16,049

中間連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	8,930	8,112	12,454	△ 347	29,149	195	—	195	373	29,718
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 529		△ 529					△ 529
役員賞与			△ 106		△ 106					△ 106
中間純利益			218		218					218
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 35	73	38	△ 23	15
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 416	△ 1	△ 417	△ 35	73	38	△ 23	△ 402
平成18年9月30日残高	8,930	8,112	12,037	△ 348	28,731	160	73	234	349	29,316

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	8,930	8,111	13,347	△ 349	30,039	154	179	334	1,963	32,337
中間連結会計期間中の変動額										
新株の発行	1,851	1,851			3,702					3,702
剰余金の配当			△ 528		△ 528					△ 528
中間純利益			832		832					832
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 8	117	108	△ 88	20
中間連結会計期間中の変動額合計	1,851	1,851	303	△ 0	4,004	△ 8	117	108	△ 88	4,025
平成19年9月30日残高	10,781	9,963	13,650	△ 350	34,044	145	297	442	1,875	36,363



中間個別財務諸表

中間貸借対照表

	単位：百万円		
	前中間期末 平成18年9月30日	当中間期末 平成19年9月30日	前期末 平成19年3月31日
(資産の部)			
流動資産	28,594	26,772	26,614
固定資産	41,861	50,467	57,341
有形固定資産	1,757	1,650	1,693
無形固定資産	937	942	1,019
投資その他の資産	39,166	47,874	54,628
資産合計	70,456	77,240	83,956
(負債の部)			
流動負債	11,493	12,379	17,049
固定負債	20,629	27,048	29,355
負債合計	32,122	39,428	46,405
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	8,930	10,781	8,930
資本剰余金	15,429	17,280	15,429
利益剰余金	14,319	10,097	13,537
自己株式	△ 348	△ 350	△ 349
株主資本合計	38,330	37,809	37,547
評価・換算差額等	3	1	3
その他有価証券評価差額金	3	1	3
純資産合計	38,333	37,811	37,550
負債純資産合計	70,456	77,240	83,956

中間損益計算書

	単位：百万円		
	前中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	当中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業収入	4,994	5,242	7,320
役務提供等収入	2,146	2,291	4,156
不動産賃貸収入	320	309	636
配当収入	2,527	2,641	2,527
営業費用	2,276	2,447	4,386
不動産賃貸原価	300	295	580
販売費及び一般管理費	1,976	2,152	3,805
営業利益	2,717	2,795	2,934
営業外収益	291	293	579
営業外費用	280	434	555
経常利益	2,728	2,654	2,958
特別利益	—	—	55
特別損失	78	5,462	748
税引前中間(当期)純利益又は税引前中間純損失(△)	2,650	△ 2,808	2,265
法人税、住民税及び事業税	120	45	490
法人税等調整額	△ 4	57	22
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	2,534	△ 2,910	1,752

中間株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰上利益剰余金						利益剰余金 合計
平成19年3月31日残高	8,930	15,178	250	15,429	13,537	13,537	△ 349	37,547	3	3	37,550
中間会計期間中の変動額											
新株の発行	1,851	1,851		1,851				3,702			3,702
剰余金の配当					△ 528	△ 528		△ 528			△ 528
中間純損失					△ 2,910	△ 2,910		△ 2,910			△ 2,910
自己株式の取得							△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)									△ 1	△ 1	△ 1
中間会計期間中の変動額合計	1,851	1,851	—	1,851	△ 3,439	△ 3,439	△ 0	261	△ 1	△ 1	260
平成19年9月30日残高	10,781	17,029	250	17,280	10,097	10,097	△ 350	37,809	1	1	37,811



会社情報

会社の概要 (平成19年9月30日現在)

商号 シダックス株式会社
 英文商号 SHIDAX CORPORATION
 設立年月日 平成13年4月2日
 資本金 10,781百万円
 従業員数 11,975名
 本店所在地 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3
 本社事務所 〒150-0041 東京都渋谷区神南一丁目12番13号
 渋谷シダックスビルレジ

役員 (平成19年9月30日現在)

代表取締役会長	志太 勤	取締役	山成健史郎
代表取締役社長	志太勤一	取締役	藤田一郎
専務取締役	遠山秀徳	監査役(常勤)	重泉良徳
常務取締役	小柴宏美	監査役(常勤)	吉井邦夫
取締役	大津 宏	監査役	鈴木興一
取締役	大原登志	監査役	山本 征
取締役	フォルトウナート・ ニック・バレンティ		

注) 監査役重泉 良徳及び監査役山本 征の両氏は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

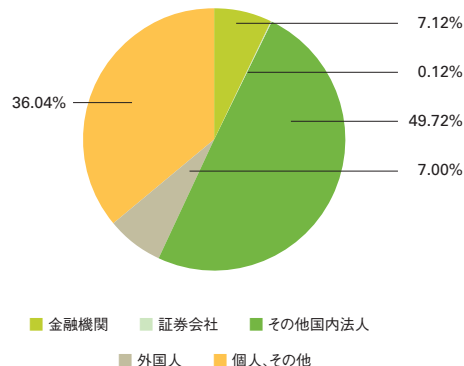
発行可能株式総数 1,400,000株
 発行済株式の総数 401,831.62株
 株主数 26,444名

大株主(上位10位)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
志太ホールディングス株式会社	121,764.74	30.30
株式会社志太起業研究所	35,403.26	8.81
株式会社シダ・セーフティ・サービス	33,778.00	8.40
志太 勤一	20,833.56	5.18
志太 勤	18,719.32	4.65
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505019	7,412.00	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,250.00	1.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,817.00	1.69
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウントズ イー アイエスジー	6,612.00	1.64
志太 正次郎	6,049.26	1.50

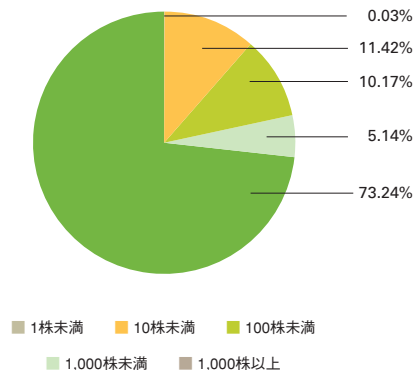
所有者別株式分布

(平成19年9月30日現在)



所有株数別株式分布

(平成19年9月30日現在)





株主優待のご案内

3月31日、9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様に対し、それぞれ、以下の基準により、カラオケ店舗でご利用頂けるレストランカラオケ優待券を贈呈いたします。

贈呈基準	1株以上5株未満→ ルーム料金1,050円(税込)割引券15枚 5株以上 → ルーム料金1,050円(税込)割引券45枚
利用方法	全国のレストランカラオケシダックスにて、ルーム料金の支払いとして、現金との併用又は、優待券のみでご利用いただけます。なお、5名様以下のご利用時は2枚まで、6名様以上のご利用時は利用枚数に制限はありません。 ウィークデーパック、ウィークエンドパック等のご選択の場合、会計総額(税込)の5%を割引とさせていただきます。(1組様1枚限り)
有効期限	3月31日現在株主様への優待券 →発行された翌年の6月30日まで 9月30日現在株主様への優待券 →発行された翌年の12月31日まで

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先)	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-78-2031
各種手続き用紙のご請求先	フリーダイヤル 0120-87-2031
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。 URL http://www.shidax.co.jp/ir/koukoku ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行される日本経済新聞に掲載して行います。